

## 信州大学交換留学生プログラム（2020年秋期受入）募集要項

### 1. 出願資格

以下の条件を満たしている者とします。

- (1) 身 分：信州大学に交換留学生として在籍を希望する期間すべてにわたって、大学間協定校の学部あるいは大学院に在籍している学生（正規生）<sup>1</sup>で、協定に基づいて信州大学に特別聴講学生として来る者。（研究を目的としてくる特別研究学生はプログラムの対象としない。）
- (2) 期 間：2020年10月から1学期（半年）または2学期（1年）間在籍する者。数週間または3ヶ月程度で帰国する者は対象としない。<sup>2</sup> グローバル化推進センター学年暦は、次のURLをご覧ください。  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/upload/docs/pdf/2020GECcalendar.pdf>
- (3) 滞在費：自費で本プログラムに参加を希望する学生は、留学のために十分な資金を持っていることが受け入れの条件となります。受入前に留学生本人または家族名義の銀行残高証明書を提出していただき、下記に相当する資金を確保していることを証明する必要があります。
- ＊ 留学期間が1学期の場合：50万円相当
- ＊ 留学期間が2学期の場合：100万円相当
- (4) 報 告：交換留学中及び帰国後、信州大学からの各種調査や報告依頼に協力できる者。

本プログラムへの応募が多いため、上記の条件をすべて満たしていても、受入れが保証されるとは限りませんのでご注意ください。

### 2. 選抜

本プログラムは、以下のプロセスで選抜を進めています。

- (1) 応募学生はまず在籍大学の交換留学担当者に締切日や提出書類を確認してください。次に下記②～⑩の書類を準備して、その他の在籍大学が必要な書類（ある場合）と一緒に在籍大学に提出してください。なお、本学指定様式は信州大学グローバル化推進センターのウェブサイトからダウンロードできます。各協定校は以下書類を2020年4月1日～4月30日の間に信州大学グローバル化推進センター（以下「センター」という。）に送付してください。（学生からの直接応募は受理しません。）

書 類	備 考
① 申請パッケージ表紙	在籍大学の交換留学生担当者が記入すること
② 申請書類チェックリスト<Form 1>	学生本人が記入すること
③ 交換留学生プログラム申請書<Form 2>	学生本人が記入すること
④ 保険加入申込書<Form 3>	学生本人が署名すること
⑤ 健康診断書<Form 4>	英語もしくは日本語で記入してもらうこと
⑥ 成績証明書の原本	在籍大学様式：英語もしくは日本語
⑦ 写真4枚	サイズ：40mm x 30mm
⑧ パスポートのコピー	写真頁。来日歴がある場合、入出国管理証印の頁も
⑨ 銀行預金残高証明書	英語もしくは日本語
⑩ 言語能力証明書のコピー	所持している場合のみ

- (2) センターでは、上記提出書類をもとに大学内部で調整して、2020年6月末日までに各協定校に結果を

<sup>1</sup> 各協定校での在籍期間が切れた時点で交換留学生の身分も消滅します。また、交換留学終了後本大学院への進学を希望する場合は、大学院入学予定1年内に限って授業料不徴収で進学準備が出来る場合があります。詳細についてはお問い合わせください。

<sup>2</sup> 本プログラムによらない交換留学を希望する場合は、できる限り早急にご相談ください。

通知します。また、査証（ビザ）や宿舎の手配など入学に必要な手続きをしていきます。

### 3. 授業料

学生交流協定により不徴収（ただし、原籍大学に授業料納付）。

### 4. 交換留学生の受入窓口・所属・指導

交換留学生プログラムに参加する学生は全てセンター所属の学生となり、センター教員がセンター所属学生の指導教員になります。本プログラムに関する諸連絡は以下の担当者にお願いします。

○グローバル化推進センター教授 佐藤 友則

E-mail: stomo@shinshu-u.ac.jp

Tel and Fax : +81-263-37-3227

住所：〒390-8621 日本国長野県松本市旭 3-1-1 信州大学グローバル化推進センター

○国際企画課 小池 知香

E-mail: koike\_chika@gm.shinshu-u.ac.jp

Tel : +81-263-37-3360

Fax : +81-263-37-2181

住所：〒390-8621 日本国長野県松本市旭 3-1-1 信州大学国際部国際企画課

### 5. 授業内容

本プログラムの学生は、以下の授業を選択できます。但し、日本語レベルや教室収容能力により履修できない科目があります。語学科目を除き、ほとんど日本語による授業です。英語による授業は極わずかですのでご注意ください。なお、信州大学全学部のシラバスが下記 URL から検索できます。（日本語のみ）

<https://campus-3.shinshu-u.ac.jp/syllabusj/Top>

#### (1) 日本語関連科目

① センター開講授業（1コマは90分授業です）

Aクラス=日本語の文字を全く知らない学生を対象に行われる集中授業 : 週9コマ

Bクラス=日本語を少し勉強してきた学生を対象に行われる集中授業 : 週9コマ

Cクラス=日本語を学習したがまだ不十分な能力の学生対象の集中授業 : 週9コマ

Dクラス=日本語を学習したがまだ不十分な能力の学生対象の集中授業 : 週9コマ

下図は2019年度（現在）開講されている授業です。参考までに見てください。

Aクラス（初級日本語）				
前 期（4月～9月）		後 期（10月～3月）		
授業科目（全5科目）	授業時間	単位数	授業科目（全5科目）	
文法(A)	(3コマ/週) x 15週	3	文法(A)	授業時間と単位数は 前期と同様
会話(A)	(3コマ/週) x 15週	3	会話(A)	
読解・作文(A)	(1コマ/週) x 15週	1	読解・作文(A)	
応用会話(A)	(1コマ/週) x 15週	1	応用会話(A)	
文字(A)	(1コマ/週) x 15週	1	文字(A)	
単位計		9	単位計	
				9

**Bクラス (初中級日本語)**

前 期 (4月～9月)			後 期 (10月～3月)	
授業科目 (全5科目)	授業時間	単位数	授業科目 (全5科目)	
文法(B)	(3コマ/週) x 15週	3	文法(B)	授業時間と単位数は 前期と同様
会話(B)	(3コマ/週) x 15週	3	会話(B)	
漢字(B)	(1コマ/週) x 15週	1	漢字(B)	
読解・作文(B)	(1コマ/週) x 15週	1	読解・作文(B)	
応用練習(B)	(1コマ/週) x 15週	1	応用練習(B)	
単位計		9	単位計	9

**Cクラス (初中級日本語)**

前 期 (4月～9月)			後 期 (10月～3月)	
授業科目 (全4科目)	授業時間	単位数	授業科目 (全4科目)	
文法(C)	(3コマ/週) x 15週	3	文法(C)	授業時間と単位数は 前期と同様
会話(C)	(3コマ/週) x 15週	3	会話(C)	
応用練習(C)	(2コマ/週) x 15週	2	応用練習(C)	
中級漢字	(1コマ/週) x 15週	1	中級漢字	
単位計		9	単位計	9

**Dクラス (中級日本語)**

前 期 (4月～9月)			後 期 (10月～3月)	
授業科目 (全4科目)	授業時間	単位数	授業科目 (全4科目)	
文法(D)	(3コマ/週) x 15週	3	文法(D)	授業時間と単位数は 前期と同様
会話(D)	(3コマ/週) x 15週	3	会話(D)	
応用練習(D)	(2コマ/週) x 15週	2	応用練習(D)	
中級漢字	(1コマ/週) x 15週	1	中級漢字	
単位計		9	単位計	9

## ② 日本語・日本事情教育科目

中級以上の日本語学習と日本体験・日本理解を目的にした「日本語・日本事情」教育科目が開講されています。

**日本語・日本事情**

前 期 (4月～9月)			後 期 (10月～3月)		
授業科目 (全12科目)	授業時間	単位数	授業科目 (全12科目)	授業時間	単位数
読解 (日本語) A-I	(1コマ/週) x 15週	1	読解 (日本語) A-II	授業時間と単位数は 前期と同様	
読解 (日本語) B-I	(1コマ/週) x 15週	1	読解 (日本語) B-II		
作文 (日本語) A-I	(1コマ/週) x 15週	1	作文 (日本語) A-II		
作文 (日本語) B-I	(1コマ/週) x 15週	1	作文 (日本語) B-II		
聴解 (日本語) A-I	(1コマ/週) x 15週	1	聴解 (日本語) A-II		
聴解 (日本語) B-I	(1コマ/週) x 15週	1	聴解 (日本語) B-II		
口頭表現 I	(1コマ/週) x 15週	1	口頭表現 II		
科学技術日本語 I	(1コマ/週) x 15週	1	科学技術日本語 II		

日本語表現文型 I	(1 コマ／週) x 15 週	1	日本語表現文型 II	
日本社会と日本人 I	(1 コマ／週) x 15 週	2	日本社会と日本人 II	
武道・伝統文化実習 I	(1 コマ／週) x 15 週	1	武道・伝統文化実習 II	
単位計		1 2	単位計	1 2

※授業科目は変更となる可能性があります。

**(2) 全学教育機構の共通教育科目のうち、教養科目、基礎科学科目、健康科学科目、新入生ゼミナールおよび教職に関する科目**

**(3) 専門科目（専門入門科目を含む）**

注) 日本語を集中的に学習したい者はセンターで日本語を学習し、専門の学習をしたい者は聴講許可を受けた学部で専門の授業を受けることになり、学部の単位を修得することもできます。

ただし、信州大学の教育学部（長野市）・工学部（長野市）・農学部（南箕輪村）・繊維学部（上田市）は、日本語関連科目が実施される松本キャンパスから遠く離れており、日本語関連科目と上記の学部の専門科目を同時に受講することはできません。なお、上記の学部に交換留学したい学生はできる限り早急にご相談ください。

1年間の交換留学を希望する学生のうち、前半6ヶ月に松本キャンパスで勉強し、後半6ヶ月に教育学部・工学部・農学部・繊維学部で勉強するというケースもありますが、その場合は、半年後松本市から住居の移動が必要です。

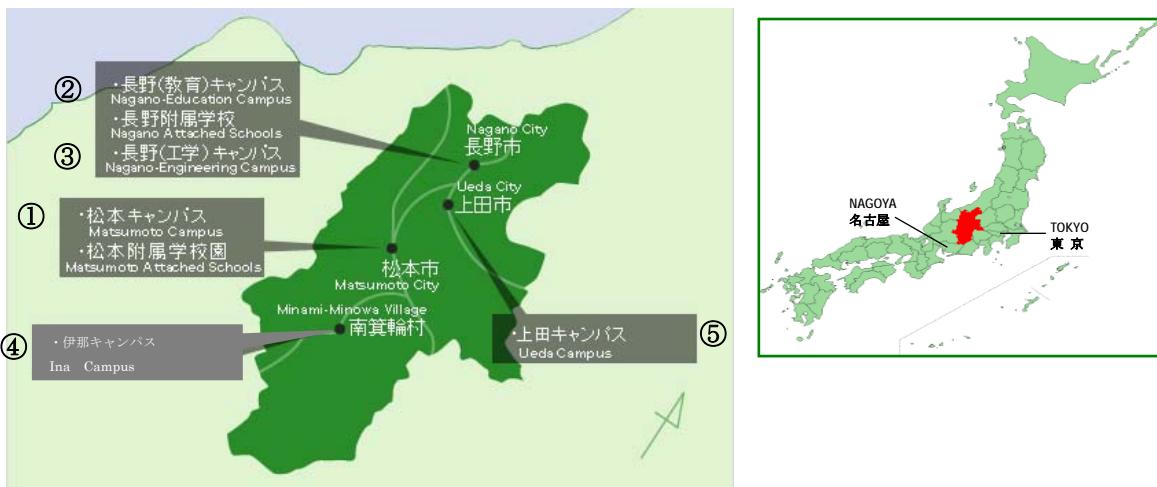
日本語能力があり、主に学部開講の専門科目を受けたい学生または研究指導を受けたい大学院生の場合は、本プログラムによらない学部または研究科の受入ができますので、早めにご相談ください。

<p><b>① 松本キャンパス</b>  <b>【グローバル化推進センター・全学教育機構・人文学部・経法学部・理学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本語関連科目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グローバル化推進センターの開講授業</li> </ul> </li> <li>● 共通教育科目           <p>全学教育機構が開講する教養科目、基礎科学科目、健康科学科目、新入生ゼミナール科目、教職に関する科目</p> </li> <li>● 専門科目           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各学部が開講する学部1年生向け専門科目</li> <li>・ 人文学部、経法学部、理学部が開講する学部2年生以上・大学院生向け専門科目</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>②長野（教育）キャンパス【教育学部】</b></p> <p>*カリキュラムの関係上、交換留学生は学部2~4年生向けの専門科目を受講できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育学部の大学院生向け専門科目</li> </ul>
	<p><b>③長野（工学）キャンパス【工学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 工学部の学部2年生以上・大学院生向け専門科目</li> </ul>
	<p><b>④伊那キャンパス【農学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 農学部の学部2年生以上・大学院生向け専門科目</li> </ul>
	<p><b>⑤上田キャンパス【繊維学部】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 繊維学部の学部2年生以上・大学院生向け専門科目</li> </ul>

なお、各学部の詳細については、信州大学のホームページをご参照ください。

学部案内：<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/>

大学院案内：<http://www.shinshu-u.ac.jp/grad/>



## 6. 履修登録・成績評価

交換留学生は、学期初めに履修登録用紙に受講する科目名を記入し、指導教員の許可を受けてからセンターに提出します。ただし、松本以外の学部で受講の場合、当該学部の学務係が交換留学生の登録用紙を受け付けます。

プログラム終了後、センターは授業科目名、成績評価及び単位数を記載した成績証明書を発行します。本募集要項末のサンプル資料をご参照ください。ただし、本プログラムで取得した単位が認定されるかどうかは、在籍大学の判断によりますので、応募する前に必ず在籍大学に確認してください。

なお、成績証明書の発行時期は、2020年秋期分は2021年4月初旬、2021年春期分は2021年10月初旬となりますので十分ご留意ください。

## 7. 修了認定

本プログラムでは、通年で10単位以上（半期で5単位以上）を取得し、修了発表を行った者に修了証書を発行します。

## 8. 宿舎

本プログラム対象者の留学生活を充実させるために、信州大学では国際交流会館と大学が契約している民間アパート等を準備しています。国際交流会館の入居は以前より難しくなっていますので、会館以外の宿舎に入る可能性があります。

## 9. 日本学生支援機構（JASSO）奨学金について

日本政府文部科学省は日本学生支援機構（Japan Student Services Organization (JASSO)）との協力により「海外留学支援制度（短期受入れ）」に基づいて短期留学生に対する奨学金を支給しています。この奨学金制度は、日本の大学と海外の協定大学との間の留学生交流を推進し、日本と各国間の相互理解と友好親善を増進するとともに、日本の大学の国際化・国際競争力強化に資することを目的としています。

JASSO 奨学金への申請希望者は必ず応募条件を確認のうえ、交換留学生プログラム申請書の JASSO 奨学金応募項目（質問 9）で「Yes」を選択してください。応募資格及び条件、金額等の詳細については「信州大学交換留学生プログラム申請パッケージ」に含まれています。

信州大学交換留学プログラムが、その年度の「JASSO 海外留学支援制度」に採択された場合は、「Yes」を選ん

だ方の中から信州大学の学内選考で候補者を選出し、選考結果を候補者の在籍大学に通知します。JASSO 奨学金への応募が多いいため、応募資格や条件を満たしていても、希望者全員が採用されるとは限りません。

## 10. 交換留学に関する情報

下記 URL に交換留学生プログラムの情報が随時更新されますので、定期的に確認するようにしてください。

<http://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/cheer/inbound/short-term-program/exchange-student.php>